

めじろだいさんちょうめ

目白台三丁目

文京区

あらぶんちよ散歩
vol.095

音羽通りや不忍通りなどの大きな通りに囲まれた、高台にあるこのエリア。江戸時代には武家屋敷があり、そこから閑静な高級住宅街に。「東京カテドラル聖マリア大聖堂」や「護国寺」など近くに見どころも多く、文化の秋のお散歩にぴったりです。

腰掛稲荷の入り口で見た「見ザル、言ワザル、聞かザル」。徳川家にちなんで、なのだろうか？

Map

今月のエリアウォーク
8490歩
坂が多く、住宅街は迷路のように入り組んでいる

1 カフェレタジェール
2 小黒米穀店
3 ブラッスリー・マシオン
4 i2(アイツー)
5 カジュアルフレンチLIBERTE(リベルテ)

目白台3丁目

三丁目坂
高速道路5号線の下にはかつて弦巻川が流れていて、三丁目橋(雑三橋)がかかっていたそう

護国寺西
● 弦巻稲荷神社
● 腰掛稲荷神社

● 筑波大学附属視覚特別支援学校

● 大塚警察署

● 同仁美登里幼稚園

● 日本木彫芸術文化財団

● 目白台図書館

● 東京音楽大学付属高等学校

● 東京カテドラル聖マリア大聖堂

● 桂林寺
住宅地にある臨済宗妙心寺派の寺院。開祖は江山和尙、享保12年(1727年)に現在地に移転

● 塩井雨江・大町桂月 旧居跡
明治・大正期の詩人・国文学者の塩井雨江が住み、その後、義弟である随筆家・国文学者の大町桂月が没年まで住んだ

● 目白台運動公園

EVENT

明治の文豪たちが暮らしたエリアで「文京・早稲田 文豪ウィーク」を開催!

森鷗外や夏目漱石など、文豪たちが暮らし、数々の作品が生み出されてきた文京・早稲田エリア。数多くの作品の舞台となった場所や風景を巡るまち歩きイベントのほか、PRアニメーションの制作(コミチャンやYouTubeで放映)、大学や地域と連携したオープニングイベントなどが行われます。開催期間は11月21日(土)~2016年1月末。まち歩きイベントは11月21日(土)・22日(日)・29日(日)、12月2日(火)・5日(土)・6日(日)に開催予定。

文京・早稲田 文豪ウィーク

☎03-3238-1224(文京・早稲田 文豪ウィーク 事務局)
受付時間/平日10時~17時(土・日・祝を除く) 開設期間/2015年11月10日(火)~12月9日(水)

TOPIC

特別天然記念物の菊花石もある家光ゆかりの「腰掛稲荷神社」

小高い丘の上にあり、眺望の良い場所だったため、三代将軍・徳川家光が鷹狩りに訪れ、大木の切株に腰を掛けてこの地で休息を取り、傍の小祠を拝して立ち去ったという。そこで近在の人々は切り株が竹矢来を廻らして稲荷の祠を祀り、後年、切り株が朽果てると、この伝来を世に伝えるために社殿を建立し「腰掛稲荷」と称した、というのが由緒だそうです。社殿の裏側には「特別天然記念物 菊花石」があり、割った切面に現れる美しい菊花状の模様を見ることが出来ます。

腰掛稲荷神社

〒文京区目白台3-26-1
☎03-3945-4808

日本木彫芸術文化財団
理事 白井 圭子さん

根付は手のひらにのる芸術。“現代的な根付”を楽しむ

「根付は江戸の町人文化から生まれた工芸品です。お財布や印籠につける飾りでしたが、洋装が広まるにつれ、根付は“用即美”ではなく技巧的になり、芸術作品になってしまいました。現在は海外で人気が高く、大英博物館にも根付コレクションがあるそうです。飛騨高山の友人が一位一刀彫の作家たちによる木彫根付の公募展を行い、これを全国に広め、東京から世界へ日本の根付文化を発信したいということで、活動をサポートする中で「日本木彫芸術文化財団」は発足しました。2年に1回、現代的な根付の“用即美”をテーマに、若い作家を育てる目的で公募展「世界現代木彫根付芸術祭」を行っています。“現代的な根付”とは、能でいうと狂言のようなもの。自由な発想の遊び心のあるモチーフが多いですね。来年3月には高山市の協力を得て「第7回現代木彫根付芸術祭ビエンナーレ」が行われます。これまでの入賞作品は「シャロン木魂(こだま)」でご覧いただけますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。また、木彫創作講習会も毎月第2水曜日、18時半から開催中です。詳しくはお問い合わせください」

→全長3cmほどのミニマムな作品の中に、若手作家の世界観が詰まっている
↑ミニクリアファイル250円など、御所や離宮でしか買えない皇室グッズも販売中

シャロン木魂(こだま)
〒文京区目白台3-4-11 GFビル1F
☎03-5319-4141
<http://mokucho-geijutsu.com/index.html>

1 カフェレタジェール

フランスのカフェのような36年続く地元のサロンの存在

1杯ずつ挽きたて淹れたてが味わえるコーヒーと、店主のおしゃべりを楽しみに通う地元の常連さんが多い。ランチの一番人気はホットサンド&シナモントーストセット(800円/サラダ・ドリンク付き)。

↑カフェタイムのおすすめ、季節のフルーツのったパンケーキセット650円

→看板猫のドナちゃんとおナーの榎原文子さん

2 小黒米穀店

“天皇の料理番”が認めた皇室御用達のお米屋さん

創業は昭和30年。先代の米の目利きが見込まれて皇室御用達に。「お納めしていたのは標準米。ブランド米に引けを取らないものもあるのよ」と千恵子さん。取り扱いには新潟のコシヒカリが多いそう。

←新潟県産コシヒカリ2kg1,340円。1kgから量り売りも可能

→「もうすぐ新米の季節ですね」と二代目の小黒千恵子さん

3 ブラッスリー・マシオン

フランスの郷土料理をワインとともに楽しんで

ご夫婦で営むブラッスリー。ランチ営業は木曜日のみ。夜はアラカルトで、黑板メニューの中から選ぶスタイルで「ワインに合う、フランスの土地に根付いた郷土料理が多いです」とシェフの富田明人さん。料理もワインもお値ごろなのがうれしい。

プレートランチは週替わり。さつま純然どりのロースト 温野菜・バターライス添え1,350円(コヒー付き)

→ソムリエ資格を持つ奥さまの富田浩子さん。ワインも種類豊富でグラスワインは680円〜

4 i2(アイツー)

昼はお食事処、夜はバー 魚市場直入の鮮魚が自慢

昼は横須賀の市場から毎朝仕入れている新鮮な魚介類を使った定食が人気の食事処、夜はおしゃれなバーという二面性を持つお店。天ぷらや刺身、焼き魚などの定食が900円から食べられる“おふくろの味”をどうぞ。

↑エビフライ、キスフライ、ヒレカツとボリューム満点のmixフライ御膳1,000円

→看板娘の小松桃さんとオーナーの石川悦子さん

5 カジュアルフレンチLIBERTE(リベルテ)

幅広い年齢層に愛されるフレンチレストラン

夫婦二人三脚で18年。国産の無農薬野菜や旬の食材にこだわり、親しみやすいフレンチを提供している。杉浦英樹シェフの無添加ドレッシングは近隣マダムに大好評。平日夜限定でバルスタイルメニュー-&2時間1,080円ワイン飲み放題もあり。

↑ランチは1,728円〜。本日の魚料理2,052円(サラダ、パン、飲み物付き)

→バルスタイルメニューのムール貝のマルセイユ風1,080円、荒びきソーセージ864円